

TOPICS
その1

「キヌヒカリ」 粃の荷受け
9月1日(水)から能勢ライスセンターと豊能ライスセンターにて「キヌヒカリ」の粃の荷受けを開始し、令和3年産のお米が続々と運び込まれました。運び込まれたお米についてはJA大阪北部ブランド米「シルク21」として販売しております。



TOPICS
その2

豊中市社会福祉協議会へ
特産米を使用したおかゆ寄贈
9月10日(金)豊中市社会福祉協議会へ特産米を使用したおかゆ3000食を寄贈しました。新型コロナウイルスの影響を受けた市民への食料支援に役立ててもらうことが目的です。寄贈したおかゆは特産米シルク21を使用し、一食ずつ個別パック包装されており、温めずにそのまま食べることも出来ることから、電気やガスを使用しなくても手軽に食べられるという利点を活かし、おかゆの寄贈を決めました。JA大阪北部では、今後も地域住民に必要とされる支援活動を行っていきます。



TOPICS
その3

1年目職員が
特産品「能勢栗」の収穫体験
10月4日(月)から5日(火)にかけて、入組1年目の職員が能勢栗の収穫を体験しました。営農担当職員の指導の下、入組1年目の職員が収穫作業を行うことで、管内の特産品である「能勢栗」の知識を深めることを目的に実施しています。JA大阪北部では、能勢栗のブランド化をより一層図り、品質の向上や生産性を高める活動に注力しています。



TOPICS
その4

プランターで野菜を育てる
栽培出前授業
9月8日(水)池田市立呉服小学校、9日(木)豊中市立原田小学校、21日(火)池田市立神田小学校にて栽培出前授業を行いました。これは食農教育の一環として、児童が植え付けから収穫まで野菜を栽培することで、食の大切さや野菜を育てる楽しさを感じてもらうことが目的です。今回は3校の児童合わせて244名が小松菜、春菊の種をプランターに植え付けました。



TOPICS
その5

バレーボールチーム
「サントリーサンバーズ」と
コラボイベント開催
箕面市をホームタウンとして活躍するバレーボールチーム「サントリーサンバーズ」V・LEAGUE DIVISION 1 MENに所属し、過去8回のリーグ優勝を誇る名門チームです。地域の方向けのバレーボール教室の開催や「箕面っ子をまもるサポート隊」として箕面警察署から委嘱を受ける等、地域に根差しながら、熱いプレーで魅了してくれています。そして、今回は「サントリーサンバーズ」とコラボが出来ました。10月16日(土)スカイアリーナ(箕面市)にて行われた2021-22 V・LEAGUEの開幕戦で、連覇に向けて勢いをつけてもらいたいと、農産物直売所が管内で採れた野菜や果物などを販売し、会場と一緒に盛り上げて頂きました。なお、この試合はサンバーズが勝利しました。

JA大阪北部では、今後も管内の団体と協力し、地域に根差し必要とされる農協として、地域農業の振興に向けた取り組みに注力していきます。

